

先生各位

## 検査内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、下記に掲げる検査項目におきまして、検査内容を変更させていただきたくご案内申し上げます。

何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

### ■実施日

2021年 4月 1日 (木) ご依頼分より

### ■変更項目および変更内容

案内書掲載頁	項目コード 統一コード	検査項目	変更箇所	新	現	備考
27	1602 3B080	ALPアイソザイム	保存	血清 冷蔵	血清 凍結	IFCC対応試薬への変更*1
			検査方法	アガロース膜電気泳動法 (IFCC処方)	アガロース膜電気泳動法 (JSCC処方)	
			基準値	ALP1 0.0~5.3% ALP2 36.6~69.2% ALP3 25.2~54.2% ALP5 0.0~18.1%	ALP2 35.8~74.0% ALP3 25.1~59.0% ALP5 0.0~16.1%	
43	3399 3G055	カルニチン	所要日数	2~4日	4~5日	測定場所変更のため
			基準値	総カルニチン 45~91 遊離カルニチン 36~74 アシルカルニチン 6~23	総カルニチン 45.0~91.0 遊離カルニチン 36.0~74.0 アシルカルニチン 6.0~23.0	
			備考	★00	OII	
44	6019 3J075	δ-アミノレブリン酸	採取量(mL) 必要量(mL)	尿 2	尿 5	外部委託に変更
			検査方法	HPLC	友国・緒方法	
			基準値	(設定なし)*2	5.0未満 mg/L	
			報告下限	0.5以下 mg/L	0.1 mg/L	
			所要日数	6~7日	2~8日	
54	3504 5E065	抗ヘリコバクターピロリ IgG抗体	検査項目名称	抗ヘリコバクターピロリ抗体	抗ヘリコバクターピロリIgG抗体	測定試薬変更のため*3
			検査方法	ラテックス凝集法	ELISA	
			検査試薬	Hピロリーラテックス「生研」/ デンカ株式会社	Eプレート「栄研」Hピロリ抗体 II/栄研化学株式会社	
			所要日数	2~3日	2~4日	

裏面もご確認下さい

ご不明な点等ございましたら貴院担当もしくは弊社お客様窓口までお申し付け下さい。

案内書 掲載頁	項目コード 統一コード	検査項目	変更箇所	新	現	備考
70	2913 5G167	抗CCP抗体	保存	血清 冷蔵	血清 凍結	現行試薬販売中止に伴う測定試薬変更のため
			検査方法	CLIA	ELISA	
			報告下限	0.5未満 U/mL	0.4未満 U/mL	
			報告下限	195.6以上 U/mL	300以上 U/mL	
			所要日数	2～3日	2～4日	
79	4107 4A055	甲状腺刺激ホルモン(TSH)	基準値	0.61～4.23 mIU/L	0.541～4.261 μ IU/mL	*4
			単位	mIU/L (SI単位)	μ IU/mL	
			報告桁数	小数第2位	小数第3位	
			報告下限	0.01未満 mIU/L	0.003 μ IU/mL	
89	4560 4Z272	NT-pro-BNP(脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント)	報告下限	10未満 pg/mL	5以下 pg/mL	*5
90	2187 5D150	CA72-4	報告下限	1.5未満 U/mL	1.0未満 U/mL	
96	3053 2B020	活性化部分トロンボプラスチン(APTT)	基準値	24.0～34.0 秒	22.0～38.0 秒	測定試薬変更のため
			報告下限	21.0未満 秒	10.0未満 秒	
	3056 2B120	FDP(フィブリン・フィブリノゲン分解産物)	報告下限	2.5未満 μ g/mL	0.5未満 μ g/mL	
	3079 2B140	Dダイマー	報告下限	0.5未満 μ g/mL	0.1 μ g/mL	

\*1 ALPアイソザイムにつきましては試薬変更となりますが、LDアイソザイムにつきましては現行試薬のまま、基準値等の変更もございません。

\*2 産業衛生関連検査としてご依頼の場合の基準値は総合検査案内51頁をご参照下さい。

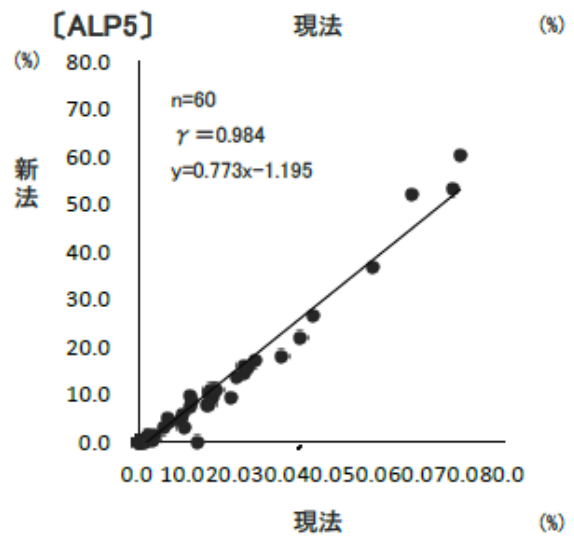
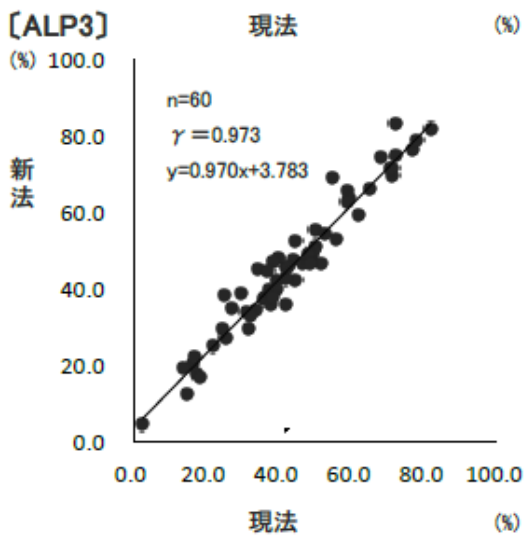
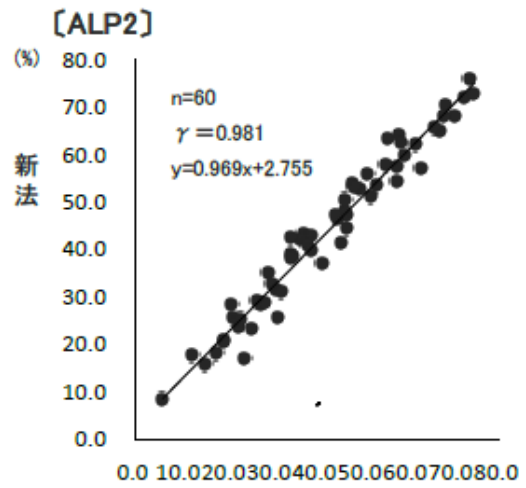
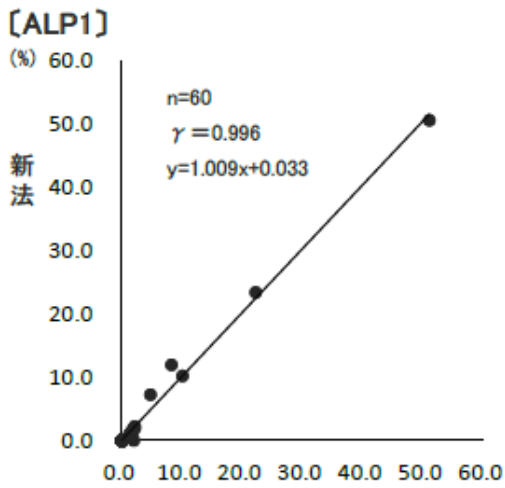
\*3 2021年3月31日までに除菌前の感染診断として抗体価測定を実施し、かつ、2021年4月1日以降に除菌後の感染診断を目的として抗体価測定を実施する場合、検査試薬の変更に伴い、除菌前の抗体測定結果との定量的な比較ができません。その際は、除菌後の感染診断におきましては他法(尿素呼吸気試験、便中抗原測定等)をご利用ください。

\*4 現行試薬販売中止に伴い、甲状腺刺激ホルモン(TSH)値のハーモナイゼーションについて、日本臨床検査医学会標準化委員会において決定された方針に基づき、IFCC標準化対応キットを採用致します。

\*5 CLSI EP17-A2指针对応の測定機器に更新のため。

＜新旧の相関＞

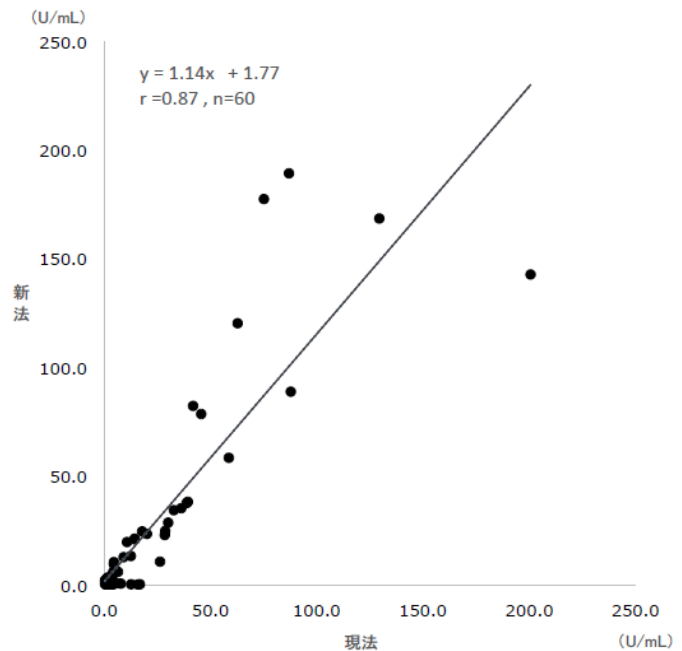
【ALPアイソザイム】



【抗ヘリコバクター・ピロリ抗体】 判定一致率

		ELISA		
		(+)	(-)	合計
ラテックス凝集法	(+)	33	6	39
	(-)	0	61	61
	合計	33	67	100

【抗CCP抗体】

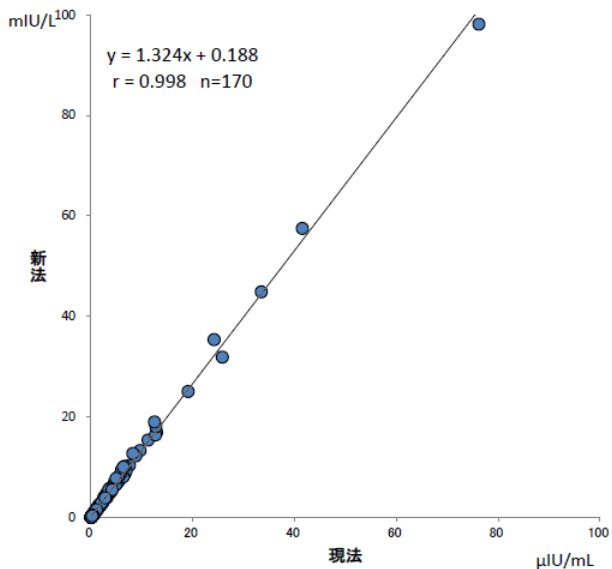


(社内検討データ)

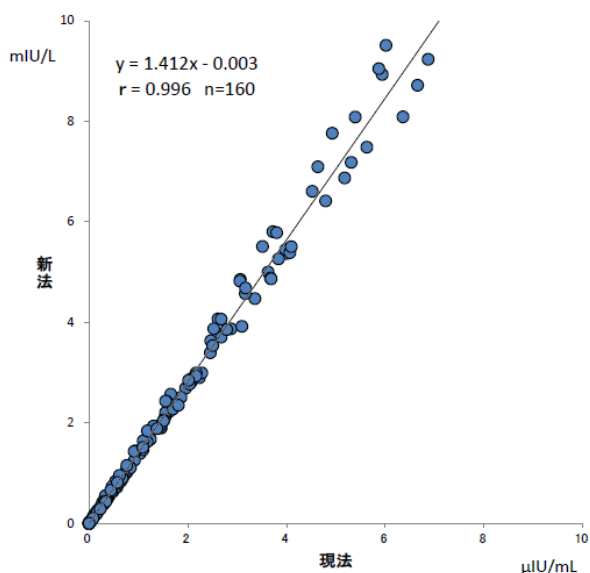
## ＜新旧の相関＞

### 【甲状腺刺激ホルモン(TSH)】

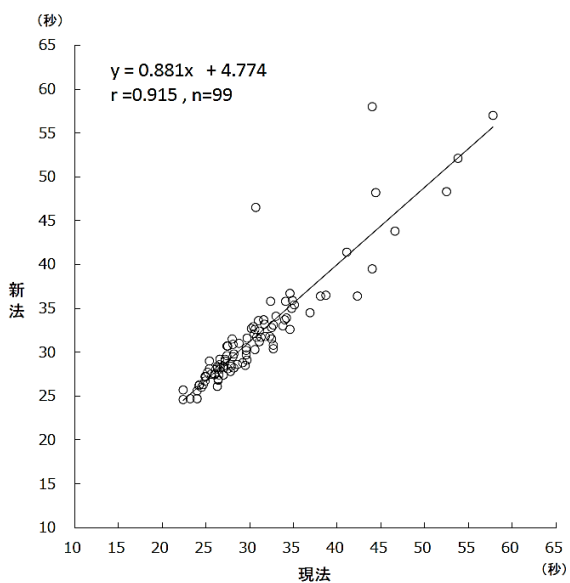
[全体]



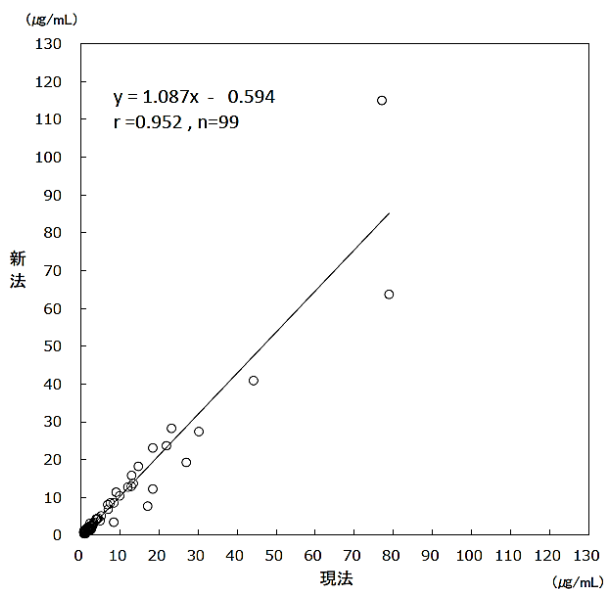
[低値域]



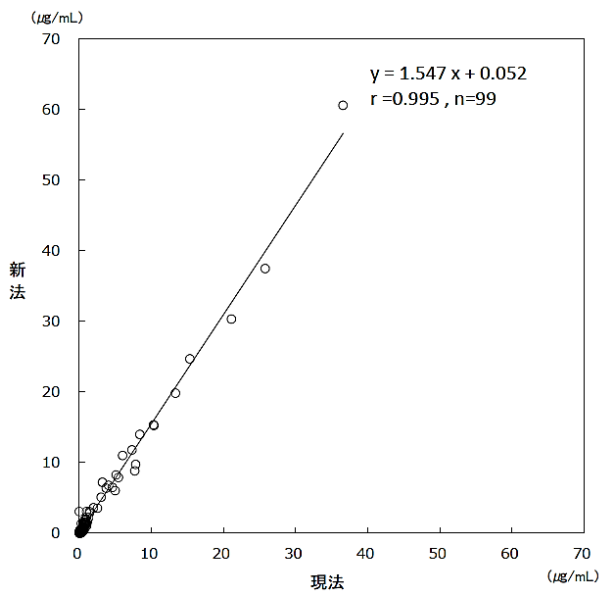
### 【活性化部分トロンボプラスチン(APTT)】



### 【FDP(フィブリン・フィブリノゲン分解産物)】



### 【Dダイマー】



(社内検討データ)